

CASE1：旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋

きゅうこくてつきせいさいせんきいゆあさえきほんや

地域に親しまれた洋風駅舎



▲外観 菱形の鉄板葺屋根や屋根上のドーマー窓、縦長の上げ下げ窓などを改修工事で復原。

この駅舎は昭和2年(1927)、和歌山方面から湯浅方面への紀勢西線延伸に伴って建設され、開業当初は紀勢西線の終着駅でした。木造平屋建、半切妻造、鉄板菱葺で、縦長の上げ下げ窓を並べた洋風建築です。西を向いて建ち、内部はかつて南側を待合室、カウンターを挟んで北側を事務室や職員休憩室等として使用しました。三方に下屋庇を設けてその一部を小荷物扱所とし、事務室のホーム側には閉塞器室を突き出すなど、戦前期の駅舎建築の特徴を備えています。旧待合室は天井を高く作り三面に縦長の窓を設け、広く明るい特徴的な空間となっています。開業以来地域の人々に親しまれた、歴史ある湯浅の一時代を象徴する建築です。

憩いの場として継承

令和3年(2021)、駅舎としての機能は北隣に新築された「湯浅えき蔵」へ移されました。旧駅舎は湯浅町の所有となり、令和4年(2022)から実施された改修工事を経て、往時の姿を取り戻しました。その後、令和5年(2023)5月から飲食店及び特産物販売所「湯浅米醬」として活用されています。室内席では駅舎として使われていた当時の雰囲気を感じながら、ホームのすぐ隣に設置されたデッキ席では電車の往來を間近に眺めながら、食事を楽しむことができます。

JR 湯浅駅は湯浅町湯浅重要伝統的建造物群保存地区や、文化財建造物が集中する広川町の広地区へ徒歩15分ほどの立地ですので、旧駅舎を周辺散策の拠点にしてみたいはいかがでしょうか。



▲内部 (写真：湯浅町提供) かつての待合室は広く明るい空間が特徴的。ホーム横のデッキへ抜ける出入口は元改札口。



活用 DATA

- 旧用途 : 駅舎
 - 活用内容 : 飲食店及び特産物販売所「湯浅米醬」
 - 公開状況 : 外部・内部とも誰でも見学可、無料
 - 営業時間 : 10:00～17:00 (食堂 11:00～14:00)
 - アクセス : JR 湯浅駅下車すぐ (改札外)
- ※令和7年(2025)3月現在の情報です。

基本 DATA

- 登録名称 : 旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋
- 登録年月日 : 令和6年(2024)3月6日
- 建築年代 : 昭和2年(1927)
/ 昭和35年(1960)増築、令和5年(2023)改修
- 所在地 : 有田郡湯浅町大字湯浅字南道 1075-2